

とうり さと

桃李の里

福島市立中野小学校 学校だより

令和2年5月27日発行 (No. 4)

文責：校長 白土 勲



いつもありがとうございます！

交通指導員の渡辺満雄（わたなべ みつお）さんは、雨の日も風の日も、毎朝子どもたちの命を守るために横断歩道の所に立ち、子どもたちの交通指導をしてくださっています。

満雄さんが立ってくださっていることで、ドライバーの方々も減速する等、安全運転に対する意識が高まっています。

毎日、本当にありがとうございます。

ただし、子どもたちがいることが分かっているにもかかわらず、すごいスピードで走っていく車があるのも事実です。

私たち教職員も「かけがえのない子どもたちの命を絶対に守る」という危機管理意識を常にもちながら、子どもたちの命を守っていきたくと思います。

満雄さんだけでなく、たくさんの保護者の皆様や、地域の皆様の御協力のおかげで、子どもたちの安全が守られていることに心より感謝申し上げます。

今後とも、御理解御協力をよろしくお願いいたします。



子どもたちが教えてくれていること

中野小学校の子どもたちは、横断歩道を渡った後、停まってくださった運転手の方々に深々と頭をさげます。

心をこめ、感謝の思いを伝えようとする子どもたちの姿に感動するとともに、そのような子どもたちが通っている学校に勤務できることを誇りに思います。

人に頭をさげるといことは、我々大人でも大切とは分かっているにもかかわらず、なかなかできないものではないでしょうか。

最近「自粛警察」という言葉がよくニュース等で聞かれるようになりました。自分がやっていることの方が正しいと思うあまりに、行き過ぎた行動で他人の行動を抑制しようとするものです。

様々なストレスから相手を批判する風潮が世の中では高まっているようですが、子どもたちの行動が教えてくれているように、まずは**相手に対して敬意を表する気持ちをもつ**とともに、**感謝の気持ちを忘れない**ということ大切にしなければならぬと感じています。

私も子どもたちを見習い、朝の立哨の際、安全運転をしてくださっていることに対する感謝の気持ちを込めて、全てのドライバーの方々に頭をさげることになりました。

大人が、子どもから教えてもらうこともたくさんありますよね。



【校長のつぶやき】

- 5年生の渡辺晴子さんの運転手の方への挨拶は、大変立派です。いつも笑顔で、心を込めて挨拶しています。私のお手本です。
- 臨時休業中、分散登校が始まってからも、学童の先生方には大変お世話になっております。いつも子どもたちのために、ありがとうございます。